

ヒメヒカゲ本州西部亜種

Coenonympha oedippus arothius

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧ⅠB類(EN)

種の概要

前翅長16～23mm程度。翅の表面は黒褐色で、裏面は黄土色地に黄色く縁取られた黒色の眼状紋を持つ。低地の湿地などの草地に生息し、幼虫はショウジョウスゲ、ヒカゲスゲ、ススキなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～7月に見られる。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州

県内分布記録

神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、明石市、加古川市、高砂市、西脇市、小野市、加西市、加東市、多可町、姫路市、神河町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、佐用町、朝来市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		

特記事項

旧28市町に広く分布していたが、多くの地域では1970～80年代に絶滅し、2000年代に記録があるのは加古川市・加西市・小野市・高砂市・姫路市の5市。開発行為による湿地の消滅や生息地の孤立化及び生息地のブッシュ化、森林化などで生息環境が悪化した。

保護上の留意点

加古川市北部では、各種の調査、草刈り、枝打ち、間伐などを実施